

山陰近畿自動車道早期実現促進大会

- 【開催日時】 令和元年11月9日（土） 13:30～15:30
 【場所】 丹後地域地場産業振興センター 多目的ホール（京丹後市網野町）
 【主催】 丹後・地域高規格道路推進協議会（舞鶴市、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町）
 【後援】 京都府、京都府高速道路網整備促進協議会
 【内容】 1 オープニング 2 開会宣言 3 主催者挨拶 4 来賓祝辞
 5 来賓紹介 6 祝電披露 7 基調講演 8 意見発表
 9 大会決議 10 がんばろう三唱 11 閉会挨拶
 【参加者数】 約450人



【開会宣言】
山陰近畿自動車道の早期完成は、私たち丹後に暮らす住民の長年の悲願である。

【主催者挨拶】
山陰近畿自動車道の早期全線整備は、我が国の高速道路網の多重化、代替性を強化する上で必要不可欠。

来賓祝辞 地元の熱意を強く感じている！！



災害時に必要なのは道路。ミッシングリンクをなくして道路がつながると災害時における避難路だけでなく生活道路としても利用でき、観光にも寄与できる。早期完成に向け予算がつくように国政において頑張っていく。



住民アンケートの結果には地元の熱意を強く感じている。地元の熱意のこもった希望ルート帯を尊重し、技術的な観点も考慮しながら最適なルートを検討していく。全線開通に向け国等と連携を図り事業推進に努める。



山陰近畿道の早期全線完成に向けた熱心な活動に対して敬意と感謝を表す。府議会としても地域の発展や生活の利便性向上のため、高速道路をはじめとした公共インフラの計画的な整備に全力で取り組む。

基調講演

「道路行政の現状と課題」 国土交通省道路局官房審議官 野田 勝 様



「早期実現促進大会」という名前からも地域がどれほどこの道路に期待しているのか伝わってきた。

《講演内容》道路整備を進めていくために、以下の5つの視点から現状と課題について講演

- ① 近年の災害例と3か年緊急対策
- ② 令和元年度予算について
- ③ 道路行政の諸課題
- ④ 人口減少と道路整備
- ⑤ 令和2年度概算要求について

意見発表

一日も早い全線開通を願う！！



京都市立久美浜高等学校 総合学科2年
岡田 直弥 様・蒲田 遥 様

授業を通して発見した地域の魅力を知ってもらうためにはインフラ整備は欠かせない。世界中から多くの方が丹後を訪れることができるよう高速道路の早期開通を願っている。



京丹後市消防本部 峰山消防署網野分署
主任 船越 昇 様

山陰近畿自動車道が「命をつなぐ」。緊急搬送先の25%は市外の医療機関となっており、救急は時間との勝負。緊急搬送、早期医療のためにも早期開通を強く望む。



京丹後 〇おかみさんの会
座長 後川 由美 様

山陰近畿道が大宮までつながり多くの方から喜びの声を聞く。先線が便利で分かりやすい道路であってほしいと願うとともに、一日も早い完成を声を大にして願う。



会場全体で「がんばろう三唱」
(発声：副会長（宮津市長）城崎 雅文)



幹事（伊根町議長）
上辻 亨

【大会決議】

- ・大宮峰山道路の推進
- ・網野ICまでの早期事業化
- ・豊岡市までのルート決定に向けた本調査の実施
- ・新たな道路財源の創設と必要な予算額の確保



副会長（与謝町議長）
山添 藤真

【閉会挨拶】

行政、住民、関係団体が一致結束しながら、この丹後地域を将来に夢と希望が持てる場所にしていくために協力をお願いする。